奈良市東部地域おこし協力隊情報紙

す・とうぶだより

令和８年
６月

過去の誌面

奈良市東部 地域おこし協力隊　事務所：奈良市大柳生町4735　TEL ：0742-93-0178

森川隊員　活動のご報告

田植えの様子

夏の気配を感じつつも、まだ爽やかな風が心地良い日々が続いています。さて先日、柳生こども園にてバケツでの田植えを見学しました。地域の方に教えて頂きながら、子どもたちはバケツの中に入った代（しろ）に苗を植えていました。管理で気を付けることは水がなくなったら足すことだそうです。「みんなも喉が渇いたら水を飲むでしょう。苗も同じです」と教えて下さりました。秋に収穫し精米し給食で食べるそうです。年長さん６人、６つの小さな田んぼができました。

さて、東部地域で英語を使った活動をしている私ですが、日本語教師の資格を持っており、以前東京の日本語学校で外国の方々に日本語を教える仕事をしていました。新米の私は毎日ベテラン講師から教育指導案の添削を受ける日々。記憶に残る思い出が一つあります。

存在を表す動詞、「ある」を導入する教案を書いた時のこと。

皆さんは、日本語を全く知らない人に「ある」という概念をどのように説明しますか。

私は机の上に鉛筆を置いて、それを指さし、『鉛筆が「あります」。』と言う流れを作りました。

「ある」とはどういうこと？（イメージ写真）

しかしその教案を見た講師は一言、「これじゃあ伝わらない」。「ある」を見せるにはどうすればいいのか―。

頭を抱える私を見かねた講師は、自身の手のひらに消しゴムをのせ、「あります」とゆっくり言いました。次に消しゴムをとり、何もない手のひらを見せ、「ありません」と言いました。その動作を数回繰り返すのを見た瞬間、私はハッと気付きました。

『「ない」を示すことで、「ある」が見えるんだ』

この時の学びは、今でも私の財産になっています。ある言葉や概念が掴めないとき、そのものを考えるより、それが「ない」状態や正反対の概念を想像する。すると、より強く「ある」状態を感じられるのです。

『万緑や　失ひて知る　自由かな』

また、東部地域の歴史を学ぶため、昨年から地域の戦没者ご遺児の方々にお話を伺っております。今回は柳生地区・邑地町にお住いの植西幸子（うえにし　さちこ）さんのお話です。

植西さんのお父様は海軍機関兵に志願し、軍の輸送船「護国丸」に乗船中の1944年11月10日、アメリカ潜水艦の魚雷攻撃を受け戦死されました。

植西さんご家族は当時大阪にお住まいでしたが、1945年大阪大空襲の直前に邑地町のお母様のご実家へ疎開しました。しかし、疎開先の実家は多くの避難者で溢れ、未亡人となったお母様と植西さんは肩身の狭い思いを強いられたそうです。

幼い植西さんは夜、外で物音がするたび「お父さんが帰ってきたのでは」と必死に耳を澄ませていたといいます。

それから歳月が流れ、お父様の命日の翌日にあたる11月11日に、植西さんの息子さんが誕生しました。偶然にも重なった日付に、お母様はこの上なく喜ばれたそうです。時を超えて、お父様の命が息子さんに繋がっていったようです。貴重なお話、誠に有難うございました。

６月の活動予定

柳生公民館英語講座

「映画と音楽で学ぶ英語講座」

映画の短いシーンを見たり、音楽を聴きながら英語を学びましょう。

【日時】6/12(金)、26(金)　10:30-11:30
場所：柳生公民館（柳生町340）

岩崎隊員　活動のご報告

12月に奈良市東部地域おこし協力隊として着任してから、約半年が経ちました。各地区の健康教室や行事を通して、多くの皆さまとお会いする機会をいただき、体操に真剣に取り組まれる姿や、教室後の笑顔、何気ない声かけの温かさに、私自身が日々力をいただいています。

今後も、健康教室を続けながら、地区ごとの小さな集まりや、住民の皆さま同士がつながるきっかけづくりにも、少しずつ関わらせていただければと思っています。

「集まる場をつくってみたいけれど、何から始めたらよいかわからない」「健康や体操をきっかけに、人が集まる機会があればよいな」といった思いがありましたら、まずはお話を聞かせてください。皆さまの考えや地域の状況を大切にしながら、一緒に考えさせていただければ幸いです。

私の願いは、皆さまが健康を土台に、自分らしく幸せに暮らし続けられることです。身体とココロの不安で夢や目標をあきらめる人を少しでも減らせるよう、これからも一つずつ取り組んでまいります。

６月訪問予定のイベント

地域で開催される各イベントに出演します！

○田原公民館　※お問い合わせは田原公民館（0742-81-0888）まで
6/6(土)　「TAWARAキッズ」イベント内でのレクリエーション
6/11(木)「認知症予防教室」
6/25(木)「体力測定会」

○6/14(日) 大柳生万年青年クラブ内のイベントにて、準備体操を実施

○興東公民館　※お問い合わせは興東公民館（0742-93-0400）まで
6/18(木)「体力測定会」

＼出演依頼も受付中！／

「うちの地域にも来てほしい！」というご相談、大歓迎です！
お気軽にお問合せください！

地域おこし協力隊事務所
0742-93-0178

佐伯隊員　活動のご報告

5月は、地域の行事に携わりながら、田植えの現場にも入り活動しました。

5月6日は、奈良市青少年野外活動センターでの第1回「阪原町さいかい市」に参加しました。

当日はあいにくの雨でしたが、それを吹き飛ばす活気に満ち、皆さんの笑顔が印象に残っています。私は健康相談・体操のブースに関わり、来場の皆さんと一緒に体を動かしながら、交流の場に加わらせていただきました。

また、いよいよ田植えの時期を迎え、農作業の現場でもイロハを教わりました。

暗渠（あんきょ：地下の排水路）のふたの開閉や、鋤簾（じょれん：泥などをかき出す道具）を使った溝掃除、水管理や田植えなどの作業を経験しました。山から引く冷たい水を直接入れず、いったん外で溜めて温めてから田んぼに入れる工夫も教わり、お米づくりはこうした細やかな管理の積み重ねで成り立つのだと、日々実感を深めています。

＼ぜひご協力ください！／

伝統野菜をはじめとした農業の取り組みについて勉強中です。ぜひ現地に伺い、見学や取材をさせていただきたいです。
ご協力いただける方はご連絡お待ちしております！

地域おこし協力隊事務所
0742-93-0178

こうした農作業での学びを活かし、お米はもちろん、東部地域が持つ多彩な魅力を情報発信やPRを通じて大切に届けていけるよう、今、一つひとつの活動に励んでいます。

今後も奈良さとやまPRに向けた取材活動を各地で進めていきます。あわせて、東部地域の農業に関する知見を広げる活動にも取り組んでいく予定です。